

令和8年度予算案のEBPM「ベビーシッターの研修機会の確保及び資質向上事業」

課題データ

ベビーシッターの資格要件を満たすための研修事業は、各自治体において実施されているものの、特にベビーシッターの数が少ない地方においては、一つの都道府県だけでは十分な受講者数が確保できない等の理由から、研修の回数が少ない傾向がある。また、各自治体において開催されている研修については、主に平日日中の開催となっており研修の機会が限られている。そのため、民間事業者を活用し、各地域ブロック等の単位やオンライン及び夜間・休日の研修機会を提供することにより、一定の研修機会を得られるようにする必要がある。

事業

ベビーシッターの研修機会の確保及び資質向上事業

令和8年度当初予算案：35百万円

ベビーシッターの更なる質の向上を図るために、ベビーシッターに対する研修等に関する実績及び全国的に研修等を提供できる体制を有する民間事業者につき、以下の取組を総合的に支援する。

- ① 指導監督基準を満たすための研修について、平日夜や土日の実施のほか、更なる研修受講推進のための円滑な研修実施に向けた取組の実施
- ② 既に指導監督基準を満たすベビーシッターに対する、その質の維持・向上を図るためのフォローアップ研修等の実施のほか、質の高いベビーシッターの養成を推進するための取組の実施

※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

アウトプット

研修事業を実施する民間事業者への委託

短期 アウトカム

平日夜間・休日等の研修開催数の増加
(2023年度2回、2024年度6回)

中期 アウトカム

ベビーシッター養成研修、現任研修参加者数の増加
(2023年度329人、2024年度664人)

長期 アウトカム

認可外の居宅訪問型保育事業における指導監督基準の適合割合の増加
(2022年度56.4%、2023年度56.8%)

EBPM指標

目標

こども・若者の権利保障と
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべてのこども・若者の
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と
その実現を阻む隘路の打破

こども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み